特別児童扶養手当認定診断書

							(血液	· 造血器	ま、その	他の障害用)
·	ふりがな)氏名				年	Ξ.	月 日台	生(歳)	男・女
1	住 所	住所地の郵便番号 (–)	郡区			町区 村				
1)	障 害 の 原 因 と な っ た				② 傷病の発生年月		左	三 月	日	診療録で確認 本人の申立て
	傷 病 名				③ ①のため初めて の診断を受けた	医師 日	左	E 月	日	診療録で確認 本人の申立て
4	傷病の原因又は 誘因		T	⑤ 既存 ⑤ 障害			⑥既往歴			
の効果が期待できない状態を含む。) —			病が治っている場合治った日						(推定・確認)	
8)	かどうか。 	また I	傷病が治っていない	場合	症状のよくなる	5見込	有	· 無	•	不明
	おける初診時所見 初診年月日 (年月日)									
9	現在までの治療の内 期間、経過、その他						作問 診療			回
	となる事項	19 1					回 月平均数	J		口
10	現在の症状、その他 参考となる事項	1								
11)	計測	身 長 cm	体 重 kg	握 力 <u>右</u> 左	kg kg	視力		·眼 ·眼		正
	年 月 日計 測	力	調整		カレベル 最良語音		最	大	714	mmHg
	計測力	視野	機能	左耳	db db	%	血圧最	小		mmHg
	■ 軽度の症状があり■ 歩行や身のまわり		ことなく、発病前と同等にけるが、歩行、軽い運動や							
		る程度のことはできるが、	2少し介助のいることもの しばしば介助がいり、日 いり、終日就床を必要とし	中の50%以	hはできないが、日中の 人上は就床しており、「	自力では唇	屋外への外出等	がほぼ不	可能となっ	ったもの
		る程度のことはできるが、	しばしば介助がいり、日	中の50%以	かはできないが、日中の 人上は就床しており、 かの範囲がおおむねべ	自力では唇	屋外への外出等	がほぼ不	可能となっ	ったもの
(13)	V 身のまわりのこと血液・造血器	る程度のことはできるが、	しばしば介助がいり、日いり、終日就床を必要とし障害 害月 日現症	中の50%以ており、活動の	かはできないが、日中の 以上は就床しており、 かの範囲がおおむねべ 状	自力では <u>原</u> ット周辺に <u>能</u>	屋外への外出等	がほぼ不	可能となっ 	ったもの
①3 1	V 身のまわりのこと	る程度のことはできるが、 ともできず、常に介助がい	しばしば介助がいり、日いり、終日就床を必要とし障 害	中の50%以ており、活動の	かはできないが、日中の 人上は就床しており、 かの範囲がおおむねべ	自力では屋ット周辺に	屋外への外出等	がほぼ不	可能となっ 	ったもの
	V身のまわりのこと血液・造血見最少切症原((() <td>を を を を で かが、が に かが、が に かが、が に かが、が に かが、が に かが、が に の こ で の に の で の で の で の で の で の で の の で の で の で の で の の の の の の の の の の の の の</td> <td>しばしば介助がい要とし 下り、終日就床を必要 事 日 全 日 2 金 日 2 (ア) 本 へら類単リ病血網 小血 よ はしばり り、 ・</td> <td>中てい、成で、ショスは球球地板数50%活動のは、のは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では</td> <td>はできないが、日中の 以上は就床しており、 動の範囲がおおむねべ 状 年 月 ×10⁴/μ 0 g/d0 % /μ 0 /μ 0 /μ 0 % ×10⁴/μ 0 %</td> <td>自力では 動力 能 日 (イ) フラー・フラー・フラー・フラー・フラー・フラー・フラー・フラー・フラー・フラー・</td> <td>を と</td> <td>がほぼ不) (E)の比 (</td> <td>(G/E) 法)</td> <td>×10⁴/μθ/μθ /μθ % % %</td>	を を を を で かが、が に かが、が に かが、が に かが、が に かが、が に かが、が に の こ で の に の で の で の で の で の で の で の の で の で の で の で の の の の の の の の の の の の の	しばしば介助がい要とし 下り、終日就床を必要 事 日 全 日 2 金 日 2 (ア) 本 へら類単リ病血網 小血 よ はしばり り、 ・	中てい、成で、ショスは球球地板数50%活動のは、のは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では	はできないが、日中の 以上は就床しており、 動の範囲がおおむねべ 状 年 月 ×10 ⁴ /μ 0 g/d0 % /μ 0 /μ 0 /μ 0 % ×10 ⁴ /μ 0 %	自力では 動力 能 日 (イ) フラー・フラー・フラー・フラー・フラー・フラー・フラー・フラー・フラー・フラー・	を と	がほぼ不) (E)の比 ((G/E) 法)	×10 ⁴ /μθ/μθ /μθ % % %
1 (ア)	V 身のまわりのこと 血 施 床 息 炭 点 原 点 原 点 原 点 の き 点 点 点	在 を で かが が に かが に の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の の で の の の の の の の の の の の の の	はしば介助床を必要 事 日 <th< td=""><td>中てい、「、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、</td><td>はできないが、日中の 以上は就床しており、 動の範囲がおおむねべ 状 年 月 ×10⁴/μ 0 g/d0 % /μ 0 /μ 0 % /μ 0 % /μ 0 % /μ 0 %</td><td>自力 に</td><td>を</td><td>(E)の比 (基準値</td><td>(G/E) 法) [秒)</td><td>×10⁴/ μ θ / μ θ % % % %</td></th<>	中てい、「、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	はできないが、日中の 以上は就床しており、 動の範囲がおおむねべ 状 年 月 ×10 ⁴ /μ 0 g/d0 % /μ 0 /μ 0 % /μ 0 % /μ 0 % /μ 0 %	自力 に	を	(E)の比 (基準値	(G/E) 法) [秒)	×10 ⁴ / μ θ / μ θ % % % %
1 (ア)	V 身の 点 店 ((<t< td=""><td>を を を で で かが、がい 年 で で の こ で の こ で の こ で の に の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の の の の の の の の の の の の の</td><td>で 月 日本 <th< td=""><td>中 て</td><td>がはできないが、日中の 以上は就床しており、 めの範囲がおおむねべ 状 年 月 ×10⁴/µ 0 g/d0 % /µ 0 /µ 0 % /µ 0 /µ 0 % /µ 0 % /µ 0 % /µ 0 % /µ 0 % /µ 0 % /µ 0 % /µ 0 /µ 0 /µ 0 /µ 0 /µ 0 % /µ 0 /µ 0 /</td><td>自力 に</td><td>是外へらいた。</td><td>(E)の比 (基準値</td><td>(G/E) 法) [秒)</td><td>×10⁴/μθ/μθ /μθ % % % %</td></th<></td></t<>	を を を で で かが、がい 年 で で の こ で の こ で の こ で の に の で の で の で の で の で の で の で の で の で の で の の の の の の の の の の の の の	で 月 日本 日本 <th< td=""><td>中 て</td><td>がはできないが、日中の 以上は就床しており、 めの範囲がおおむねべ 状 年 月 ×10⁴/µ 0 g/d0 % /µ 0 /µ 0 % /µ 0 /µ 0 % /µ 0 % /µ 0 % /µ 0 % /µ 0 % /µ 0 % /µ 0 % /µ 0 /µ 0 /µ 0 /µ 0 /µ 0 % /µ 0 /µ 0 /</td><td>自力 に</td><td>是外へらいた。</td><td>(E)の比 (基準値</td><td>(G/E) 法) [秒)</td><td>×10⁴/μθ/μθ /μθ % % % %</td></th<>	中 て	がはできないが、日中の 以上は就床しており、 めの範囲がおおむねべ 状 年 月 ×10 ⁴ /µ 0 g/d0 % /µ 0 /µ 0 % /µ 0 /µ 0 % /µ 0 % /µ 0 % /µ 0 % /µ 0 % /µ 0 % /µ 0 % /µ 0 /µ 0 /µ 0 /µ 0 /µ 0 % /µ 0 /µ 0 /	自力 に	是外へらいた。	(E)の比 (基準値	(G/E) 法) [秒)	×10 ⁴ /μθ/μθ /μθ % % % %
1 (ア)	V 身のまわりのこと 血液 床 ・ 造血 見 状 ((で で で で で で で で で で で で で で	で 月 日本 日本 <th< td=""><td>中 て</td><td>がはできないが、日中の 以上は就床しており、 めの範囲がおおむねべ 状 年 月 ×10⁴/µ 0 g/d0 % /µ 0 /µ 0 % /µ 0 /µ 0 % /µ 0 % /µ 0 % /µ 0 % /µ 0 % /µ 0 % /µ 0 % /µ 0 /µ 0 /µ 0 /µ 0 /µ 0 % /µ 0 /µ 0 /</td><td>自力 に</td><td>是外へらいた。</td><td>(E)の比 (基準値</td><td>(G/E) 法) [秒)</td><td>×10⁴/μθ/μθ /μθ % % % %</td></th<>	中 て	がはできないが、日中の 以上は就床しており、 めの範囲がおおむねべ 状 年 月 ×10 ⁴ /µ 0 g/d0 % /µ 0 /µ 0 % /µ 0 /µ 0 % /µ 0 % /µ 0 % /µ 0 % /µ 0 % /µ 0 % /µ 0 % /µ 0 /µ 0 /µ 0 /µ 0 /µ 0 % /µ 0 /µ 0 /	自力 に	是外へらいた。	(E)の比 (基準値	(G/E) 法) [秒)	×10 ⁴ /μθ/μθ /μθ % % % %

⑭ その他の障	害	年	月	日現症)	
1 症 状					2 検査成績
(1) 自 覚 症 状					単位 施設基準値 年月日 年月日 年月日 赤血球数 万/μ θ
					ntグロビン濃度 g/d0
					総 蛋 白 g/dl
					アルブミン g/d0
(2) 他 覚 所 見					
3 人 工 臓 器 等					
	• 右	毛術年 目日:	在	B F	3 (4) 自己導尿の常時施行 無・ 有
(2) 尿路変更術 無	• 有	手術年月日:	年	月日	日 (5) 完全尿失禁状態 無 ・ 有 (カテーテル留置: 年 月 日)
(3) 新膀胱増設 無	• 有	手術年月日:	年	月目	日 (6) その他の手術 無 ・ 有 () 年 月 日
⑤ 現症時の日常生活					
活動能力					
16 予 後					
-					
⑰ 備 考					
			_		
本人の障害の科	 呈度及び状態	。 とに無関係な欄に	は記入する	る必要はる	ありません。(無関係な欄は、斜線により抹消してください。)

上記のとおり、診断します。

年 月 日

病院又は診療所の名称

診療担当科名

所 在 地

医師 氏名

印

注 意

- 1 この診断書は、特別児童扶養手当の受給資格を認定するための資料の一つです。
 - この診断書は障害者の障害の状態を証明するために使用されますが、記入事項に不明な点がありますと認定が遅くなることがありますので、詳しく記入してください。
- 2 ○・×で答えられる欄は、該当するものを○で囲んでください。記入しきれない場合は、別に紙片を貼り付けて記入してください。
- 3 診断書の様式は、障害の原因となった傷病に応じて次のとおり定めています。この診断書は、次のいずれの障害にも該当せず、かつ、これらの診断書を使用することが適切でないと認められる場合に使用してください。

様式第1号 眼の障害用

様式第2号 聴力、平衡機能、口腔(そしゃく・言語)の障害用

様式第3号 肢体の障害用

様式第4号 精神の障害用

様式第5号 呼吸器疾患の障害用

様式第6号 循環器疾患の障害用

様式第7号 腎疾患・肝疾患・糖尿病の障害用

- 4 ③の欄は、この診断書を作成するための診断日ではなく障害者が障害の原因となった傷病について初めて医師の診断を受けた 日を記入してください。前に他の医師が診断している場合は、障害者本人又はその父母等の申立てによって記入してください。
- 5 ⑨の欄の「診療回数」は、現症日前1年間における診療回数を記入してください。(なお、入院日数1日は、診療回数1回と して計算してください。)
- 6 「障害の状態」の欄は、次のことに留意して記入してください。
- (1) 本人の障害の程度及び状態に無関係な欄には記入する必要がありません。 (無関係な欄は斜線により抹消してください。) なお、該当欄に記入しきれない場合は、別に紙片を貼り付けてそれに記入してください。
- (2) ⑪の聴力欄は「聴力レベル」を記入してください。

「聴力レベル」は、昭和57年改正後のJIS規格によるオージオメータで測定した測定値です。

- (3) ⑭の1欄は、なるべく具体的に記入してください。
- (4) ⑭の2欄は、血液検査値のうち、病状を適切に現していると思われるものを記入してください。